



エコノスが参加参画する 「南相馬ソーラー・アグリパーク事業」着手のお知らせ

環境関連事業を展開する株式会社エコノス(本社：札幌市白石区、代表取締役社長 長谷川勝也、以下：エコノス)がPMO※(事業全体統括補佐、事業性評価補佐、会計管理補佐等)として参加参画し、福島復興ソーラー株式会社(本社：東京都港区、代表取締役社長 半谷栄寿、以下：福島復興ソーラー)が東日本大震災からの福島県復興のために行う発電事業と地域交流事業から成る南相馬ソーラー・アグリパーク事業は、このたび本格的に着手されます。

※PMO=Project Management Office(プロジェクトマネジメントオフィス)の略

福島復興ソーラーの行う南相馬ソーラー・アグリパーク事業は、被災地域のひとつである南相馬市において太陽光発電を行ない、発電した電力を地元農業関係者が同敷地内で経営する植物工場などに供給するとともに、太陽光発電の仕組みについての学習や農業体験を通じて子供たちの成長支援と交流を行うもので、2013年春には発電を開始する予定です。

事業の実施概要



エコノスの今後の事業展開

エコノスは本事業において、PMO(事業全体統括補佐、事業性評価補佐、会計補佐等)の業務を行うことで、再生可能エネルギー事業や植物工場事業に対する運営ノウハウを取得し、今後北海道内で行われる再生可能エネルギー事業や植物工場事業に対するPMO業務を本格的に開始します。

以上

